



リキッドタイプ有機活力液肥

ストレスバスター

7.5-0-1.5+0.8Fe

アミノ酸+糖類+微量元素+湿潤剤など含有

芝生が本来持つ免疫性を引き出し、高温・乾燥・低温や低日照などのストレス抵抗性を高めると共にストレスからの回復を助けるために製品化された液肥です。

[特長]

1. アミノ酸、糖類、微量元素に加えて湿潤剤も含むバイオスティミュラント(生物刺激)資材です。鉄を0.8%含みます。
2. 芝生のストレスからの回復を助けます。
3. 年間を通じ、芝生の生育期間中はいつでも使用でき、活力を与えて生育を促進させます。
4. 施肥後、葉色がすばやく向上します。洋芝の低温時での葉色向上にも卓越した効果があります。
5. 湿潤剤が含まれているため、葉面からの養分浸透力を高め葉面吸収効率が上がります。
6. 競技場、ゴルフ場のグリーン、ティー、フェアウェイや、校庭緑化、公園緑地の芝地に使えます。
7. リキッド(原液)タイプなので水に容易に希釈できます。

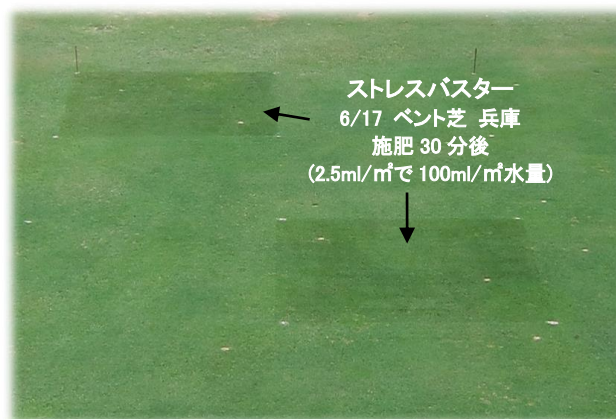
[登録保証値]

● 窒素全量	7.5 %
● 加里全量	1.5 %
● 水溶性マンガ	0.010 %
● 鉄(Fe)	0.8 %
● 銅(Cu)	0.002 %
● 亜鉛(Zn)	0.015 %



10ℓ (約 12.25kg)

● 容量	(ケース) : 20ℓ (10ℓ×2本)
● 施肥面積	(ケース) : 約8,000㎡~4,000㎡
● 比重	: 1.225~1.255



発売元

株式会社 ハイポネックスジャパン
プロターフチーム

<https://www.hyponex.co.jp>

本社 〒532-0003 大阪市淀川区宮原 4-1-9 TEL 06-6396-0801

[使用方法]

1. 水に希釈して使用し、希釈液をスプレーヤーや散水機器で施肥します。
 - * 根から吸収させる場合 1㎡あたりの使用量は2.5～5.0mlで、希釈液を1㎡あたり60ml～500ml 散布します。
 - * 葉面散布の場合 1㎡あたりの使用量は2.5～5.0mlで、希釈液を1㎡あたり30ml～60mlを目安に噴霧します。
2. 芝生の生育期間中はいつでも使用でき、3～4週間毎の施肥をお勧めします。
3. 混合使用について
 - * ICL社スポーツマスター粉末液肥の各種と混合できます(シーマックスは混合不可)
 - * ICL社グリーンマスター「リキッドタイプ スプリング&サマー」との混合はできません。
 - * 鉄剤「リキッド Fe6.3 など」や土壌浸透剤「H2 プロなど」との混合はできません。
 - * 農薬との混合はできません。別々にお使いください。

[施肥をおすすめする時期]

春	梅雨前	夏	秋	冬
◎	◎	◎ *注1	◎	○ *注2

*注1 特にベント芝やケンタッキーブルーグラスなどの寒地型芝草で、夏場の乾燥が激しい時、炎天下の高温時には施肥しないでください。特に60～100ml/㎡の少水量・高濃度施肥で葉焼けを起こす可能性があります。

*注2 温暖地で低温でも芝生が生育しているときは施肥可能です。
凍った芝地へ施肥しないでください。

[施肥量]

1㎡あたり 施肥量	1㎡あたり 窒素成分量	10ℓボトル あたり 施肥面積	1㎡あたり 希釈液の散布量と倍率							
			葉面散布		根から吸収					
			40ml		60ml		100ml		500ml	
			倍率	1,000ℓタンク 肥料混合量	倍率	1,000ℓタンク 肥料混合量	倍率	1,000ℓタンク 肥料混合量	倍率	1,000ℓタンク 肥料混合量
2.5ml	0.22g	4,000 ㎡	16倍	62.5ℓ	24倍	41.6ℓ	40倍	25.0ℓ	200倍	5.0ℓ
5.0ml	0.45g	2,000 ㎡	8倍	125.0ℓ	12倍	83.3ℓ	20倍	50.0ℓ	100倍	10.0ℓ

注意: 必ずお試しのうえ、お使いください。

⚠ 注意

- 飲み物ではありません。飲まないでください。
- 子どもの手の届かないところ、ペット類が触れないところに保管してください。
- 目に入らないように注意してください。目に入った場合は、すぐに水で洗い流してください。また、製品及び希釈液が体や肌についた場合も、すぐに水で洗い流してください。
- かぶれやすい人は取扱いに十分注意してください。
- 施肥量、施肥濃度は目安ですので、お試しのうえ使用してください。
施肥量、施肥濃度は芝生の種類、生育状況、気象条件、用土、灌水方法、踏圧などにより異なります。
- 製品の性質上、幾分色合いが異なったりすることがあります。
- 使用後はタンク、ホース内等をしっかり洗浄してください。
- 希釈液は使い切り、希釈液での保管はしないでください。
- 開封後は密栓し、直射日光や湿気を避けて、冷暗所に保管してください。
- 液肥と混合する場合、混合液のにごり・沈殿物発生や芝生施用後の葉害など必ずお試しのうえ、安全を確認してからご使用ください。
- 農薬、鉄剤、土壌浸透剤と混合はできません。別々にお使いください。
- 使用済みの空容器、使用残りの中身は放置せず適切に廃棄してください。